

本年度、最後の仕上げにかかります。

全国体力テストの結果が発表されました。兵庫県の小・中学生の体力は全国平均をやや下回っています。小学校5年生の男子は33番目、女子は38番目の結果が出ました。長谷小は、全国平均とほぼ同じくらいでした。なかでもボール投げは特に優れていましたが、柔軟性はやや劣っていました。後の種目は全国平均と少し上か下程度で特にかわりはありませんでした。ただ、男子3名、女子1名と少ない人数ですが、本校児童の体力は全国平均には到達していると思われれます。今後とも、さらなる体力作りを目指していきます。

体力は、体育の授業と遊びの中で作られます。以前よりも体育の時間が減り、安心安全のためとはいえ、早く下校をしていたのでは遊びの時間も減り、体力が衰えてくるのはあたりまえのことです。体を動かす時間は、中間休み、給食後、放課後を合計すると、体育の時間より、遊びの時間の方が多くなります。体育の授業での体力作りは当然ですが、休み時間は外で遊ばせる方が体力の向上につながります。土曜日、日曜日にも児童が学校で遊んでくれればよいと考えます。

本校では、今、竹馬がはやっています。竹をしっかりと握るため握力は伸びます。しかし、上体起こしや長座体前屈や反復横跳びや持久走やシャトルランや立ち幅跳びやソフトボール投げなどの全国体力テストの項目の向上にはそれほど結びつきません。しかし、乗れなかった竹馬に乗ろうとする意欲や運動神経が鍛えられます。そして、乗れる子が乗れない子に対して協力したり指導したり、互いに助け合ったりすることはとても大切なことです。また、できなかったことができるという喜びは、何物にも代え難いことです。

来年度、「放課後子ども教室」は金曜日のみを考えています。これは、ボランティアの方の負担の軽減をはかると共に、月曜日は低学年の児童がどんな遊びがしたいかを自分たちでも考える機会になると考えるからです。詳しくは3月に開く「放課後子ども教室」の委員会決定します。

学習では、2月3月で最後の仕上げにかかります。それぞれの学年で、教科の学習の目標は達成されているか、つまり一人ひとりの学力を確実につけることに全力を尽くしていきます。また、体力や学校での基本的な生活習慣も確実に身につくか点検し前進を目指します。6年生は3月23日の卒業式に向かって、全力で取り組んでいきます。漢字の習得率や計算の正確さ・スピードは授業だけでは完全につけることは困難なので宿題もだします。ご家庭でも、宿題はできたかを見聞に聞いてやってください。

これまで中学校や高等学校で英語教育をやっても英会話ができる生徒は少なかったという現状から、小さい頃から英語になれるという意味で21年度から5・6年生は毎週1時間、英語の学習が始まります。今までも国際理解教育としてALTの先生の指導のもと、全学年で月一回程度の英語学習をやってきましたが、5・6年生に重点をおいて英語を学ぶということになります。

文部科学省では、平成23年度から新しい学習指導要領にそって英語の時間を実施するようになっていますが、先行実施をしても構わないということで、神崎郡の三町も同様に先行実施します。また、日本の児童の学力が低下しているということから、日本全国で4月から授業時数が全学年1時間以上増えます。特に、算数や理科の時間数が増えます。増やす時間をどのくらいにするかは職員会でよく話し合って決めます。